



第281号

2012年(平成24年)6月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空満町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

府民公開講座 第2回 緊急検査部会

評価点 基礎教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

昨年の夏、関東では例年の数倍の熱中症患者が発生しました。その原因のひとつとして東北沖大震災による節電の影響が挙げられています。

そして、今年の夏は関西でも節電の可能性が高く熱中症の多発が危惧されています。

今一度、シーズン前に市民・府民の皆様も交えて熱中症について勉強したいと思います。

日時

平成24年6月23日(土) 14:30~16:30

会場

あべのメディックス 6階

参加費

無料

連絡先

大阪府立泉州救命救急センター 福田 篤久
Email: atsuhisa@sccmc.izumisano.osaka.jp
Tel: 072-464-9911 (内線9601)

Theme THE 熱中症

~予防策から治療法まで心得ていますか~

【一般講演】

1. 熱中症の正しい知識と対処法

講師: 大塚製薬工場 OS-1事業部 山口 寛之

2. 熱中症と臨床検査の関わり

講師: 大阪府立中河内救命救急センター 津田 喜裕

【特別講演】

熱中症-熱に対する生体反応の観点から-

順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科 西山 和孝

大阪府後援

(社)日本臨床衛生検査技師会会員の皆様方へ

お知らせ

平成24・25年度(社)日本臨床衛生検査技師会会長候補者選挙におきまして、1万票の大差をつけて当会が推薦していました「長野県 宮島喜文氏」が当選いたしました。皆様方の多大なご支援とご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

さて、来る5月26日(土)に平成23年度(社)日本臨床衛生検査技師会決算定期総会が、東京の大森東急インにて開催されます。各自の施設又は自宅に案内書が送付されます。この度の定期総会から従来の様式が変更され、書面議決の形式が採用されていますのでご注意ください、議決権行使書を返信されますようお願い申し上げます。

議決権行使書の記入・提出にあたっての留意事項は、下記のとおりです。

1. 総会に出席する方は、書面の議決権のチェック記入は必要ありません。
2. 総会に欠席する方は、各議案に対して議決表示を書面にチェックして提出してください。1 議案に対して、会員が 1 議決権を行使すること。
3. 役員を選任については、役員 1 名につき承認の有無を議決する必要があります。
4. 従来ありました「委任状」は廃止されました。

◎お願い◎

前回の平成24年度(社)日本臨床衛生検査技師会予算定期総会は、成立せず散会となりました。この度の総会での役員選任は重要な事項ですので、**必ず開封して返信してください。**よろしく申し上げます。

※総会議案の詳細は、日臨技ホームページにアップされています。

※日期的には5月号でご案内すべき内容ですが、日臨技から詳細が通知された時点での掲載となっております。重要度を考慮し、一人でも多くの会員の皆様にお知らせするため今月号に掲載しておりますこと、ご了承ください。

他職種公開講座 微生物検査部門 定期講習会

学術部 微生物検査部門からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 集中治療領域での感染症診療

講師：関西医科大学枚方病院 総合集中治療部 副部長 西憲一郎

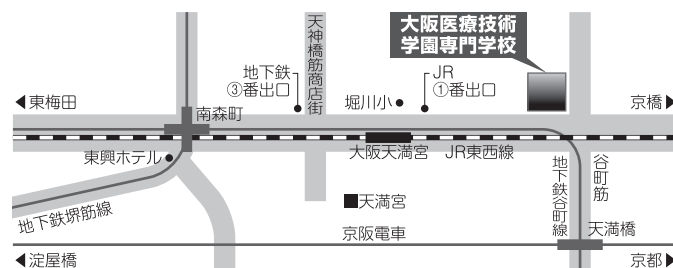
一般的な病院における集中治療室(ICU)では重症患者が多くを占めるため、呼吸管理をはじめ高度な処置や治療、対策が施されます。そのため、コンプロマイズドホストであることが多く、感染症治療・対策や栄養管理は一般病棟以上に重要となります。

集中治療室では感染症が原因で命を落とすケースも少なくありません。検査室としても、集中治療室でどのような処置が行われ、どのように検査データが使用されているのかを知ることが、早期の病態改善を目指す上でも重要であると考えられます。また、日々進化する最新の集中治療についても学ぶ必要があると思われま

そこで、今回は関西医科大学枚方病院総合集中治療部副部長西憲一郎先生をお招きし、集中治療室における患者管理から感染症治療、そしてグロブリン製剤を使用した最新の治療などについてご講演していただきます。皆さん奮ってご参加ください。

尚、当日は帝人ファーマ様より免疫グロブリン製剤についての情報提供も予定しています。

- 日時 平成24年6月26日(火) 18:30~20:00
- 会場 大阪医療技術学園専門学校 2階
(〒530-0044 大阪市北区東天満 2-1-30)
- 参加費 会員500円
(非会員は別途資料代として500円が必要です)
- 共催 帝人ファーマ株式会社
- 連絡先 関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也
Email: nakamurt@hirakata.kmu.ac.jp



他職種公開講座 微生物検査部門 基礎講座

学術部 微生物検査部門からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

講義編

開催日・講師

平成24年6月7日(木)

ゼロからの塗抹鏡検

講師：浅香山病院 李 相太

平成24年6月14日(木)

ゼロからの培養同定検査

講師：大阪赤十字病院 市村 佳彦

(5月号ニュースから変更になっています)

平成24年6月21日(木)

ゼロからの薬剤感受性検査

講師：近畿大学医学部附属病院 宇都宮 孝治

会場

大阪医療技術学園専門学校

(〒530-0044 大阪市北区東天満 2-1-30)

時間

18:30~20:00

参加費

会員500円(非会員は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也

Email: nakamurt@hirakata.kmu.ac.jp

実技編

公開講座 募集中!

日程

- 平成24年7月14日(土) 14:00~17:00
- 平成24年7月15日(日) 9:00~17:00
- 平成24年7月16日(月:海の日) 9:00~15:30(終了予定)

募集人数

- 25名(定員になり次第締め切らせていただきます)

右記申し込み先にメールまたは官製はがきにて

1) 施設名、2) 部署、3) 施設の住所および郵便番号・電話番号・FAX番号、4) 氏名、5) 経験年数をお知らせください。
受付確認のご連絡をさせていただきます。

※携帯のメールからは申し込み不可とさせていただきます。

会場

大阪医療技術学園専門学校

(〒530-0044 大阪市北区東天満 2-1-30)

参加費

会員8000円、非会員15,000円

申込み先

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7

大阪市立大学医学部附属病院 中央検査部 仁木 誠

Email: niki@med.osaka-cu.ac.jp

評価点

専門教科-25点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

前半はシリーズ企画の糖尿病教室の紹介その3です。他施設の教室での取り組みをヒントに自施設に合った取り組み方法を見つけられるかもしれません。

後半は糖尿病腎症の早期発見に欠かせない尿中アルブミンについて改めて考えたいと思います。今年度新設された透析予防指導管理料の算定にチーム医療として臨床検査技師も貢献できる可能性があります。そのためにも尿中アルブミンと糖尿病との関係をしっかり身につけませんか？ぜひ多くの方々の参加をお待ちしております。

内容

1. 糖尿病教室の紹介 シリーズその3

講師：大阪府立成人病センター 臨床検査科 増田 千紘

2. 尿中アルブミンは何を語っているの？

講師：市立芦屋病院 臨床検査科 上田 一仁

糖尿病療養指導士認定のための更新単位

(臨床検査技師のみ 1群) : 0.5 単位

(CDEJ)の方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」の必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。

日時 平成24年6月13日(水) 18:30~20:00

会場 大阪鉄道病院 3階講堂
(JR天王寺駅・地下鉄御堂筋線・谷町線天王寺駅、近鉄阿部野橋駅徒歩5分)
会場の入口で臨床検査技師会会員証の提示の協力をお願いします。

時間 18:30~20:00

参加費 会員500円(非会員は別途資料代として500円が必要です)

連絡先 ぶくだ内科クリニック 横山 有子
Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp



Information

学術部 一般検査部門からのお知らせ

一般検査部門 定期講習会

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

一般検査基礎講習会を全6回にわたり開催いたします。今年度も水曜日に開催いたします。

本研修会は一般検査の基礎的内容を中心に学ぶことを目的としております。一般検査を始められた方からベテラン技師まで、幅広く学べる内容を考えております。

第3回目は尿沈渣検査法②としまして「円柱類」の生成から尿中に出現するまでの過程と分類について、第4回目は尿沈渣検査法③としまして「上皮細胞類」の分類と鑑別法について学びたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第3回 尿沈渣検査法②円柱類

- 日時 平成24年6月13日(水) 18:30~20:30
- 会場 クレオ大阪中央 セミナーホール
(大阪市営地下鉄「四天王寺前夕陽丘駅」下車 徒歩5分)
- 内容 「円柱類の分類と鑑別法」
~円柱が形成される理由~
- 講師 大阪労災病院 臨床検査科 村田 良一

第4回 尿沈渣検査法③上皮細胞類

- 日時 平成24年6月27日(水) 18:30~20:30
- 会場 クレオ大阪中央 セミナーホール
- 内容 「上皮細胞類の分類と鑑別法」
~上皮細胞をマスターしよう!~
- 講師 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 滝沢 恵津子

- 参加費 技師会員(賛助・申請中を含む)500円 非会員3,000円
- 連絡先 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 堀田 真希
Email: masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp



今後の予定

また、5回目以降は右記の通り開催いたします。詳細については開催月の大臨技ニュースをご覧ください。※各回とも 18:30より開催。

- 第5回 平成24年7月11日(水) 「異型細胞」
- 第6回 平成24年7月25日(水) 「髄液検査法」
- ※会場:クレオ大阪中央セミナーホール

他職種公開講座 臨床化学検査部門 講演会

学術部 臨床化学検査部門からのお知らせ

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 「骨粗鬆症における骨代謝マーカーの役割」

講師：ヤマサ醤油株式会社 診断薬部 診断薬営業情報室 石井 重延

骨粗鬆症における骨代謝マーカーの役割、各種骨吸収および骨形成マーカーの特徴を、ガイドラインの内容に沿って解説します。皆様、お誘い合わせの上多数ご参加ください。

- 日時 平成24年6月14日(木) 18:30~20:00
- 会場 大阪市立大学医学部 4階小講義室1
- 参加費 500円
(非会員の方は別途資料代として500円必要です)
- 連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 石田 繁則
Email: shigei@med.osaka-cu.ac.jp

他職種公開講座 生理検査部門 定期講習会

学術部 生理検査部門からのお知らせ

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 「心・血管領域のソノグラファーが知っておきたいエビデンス ~心筋マーカーから冠血流まで~」

講師：大阪掖済会病院 臨床検査科 川崎 俊博

“エビデンス”という言葉をご存知ですか？
医学的には、臨床的な裏づけ（根拠、証拠）を意味します。心エコーや血管エコーに従事されている皆さんが、普段の検査で報告書に記載している内容が、エビデンスに基づいたものかどうかご存知ですか？

近年、心エコーや血管エコーに関連した様々なエビデンスが報告されています。それらを知り、日常の検査に活かせば、ワンランク上の報告ができると思います。

90分という限られた時間ですが、ソノグラファーが知っておきたいエビデンスを症例を交えていくつかご紹介致します。皆さんふるってご参加ください。

- 日時 平成24年6月28日(木) 18:30~20:00
- 会場 大阪医療技術学園専門学校
- 参加費 500円 (非会員の方は別途、資料代として500円が必要です。)
- 連絡先 市立豊中病院 山内 一浩
Email: yamakazu_olive@yahoo.co.jp

他職種公開講座 免疫血清検査部門 定期講習会

学術部 免疫血清検査部門からのお知らせ

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

一気に気候が変わり汗ばむ季節となってまいりましたが、皆様体調管理の方は万全でしょうか？
さて、遅くなりましたが本年度第一回目の免疫血清検査部門講演会の案内です。この4月に採用になられた方々、あるいは配置転換や転勤で新しい職場に来られた方々もそろそろ慣れてきましたでしょうか。とはいえ、臨床側からの問い合わせに、的確にアドバイスや追加検査の指示を出している先輩・上司を格好ええなぁと思ったことはありませんか？そんな方のために、今年度の定期講演会は「いまさら聞けない免疫血清検査の基本」をテーマに企画を行いました。

第一回目は「感染症検査編」と「ホルモン検査編」で、導入部分では各検査の基本的な事項を解説いただけます。
後半部分では「HBe抗原陽性からHBe抗体陽性へのセロコンバージョンって、実は快方に向かっているわけではないってどうゆうこと？」「フリーホルモンに対する抗体が存在すると、FT4とFT3のバランスってどんな感じに崩れるの？TSHはどんな動きをするの？」などの問い合わせに対する回答事例をお話いただけます。

新人さんのみならず、ベテラン技師の方もこれまでの知識の復習に役立つはずです。梅雨時でお天気が心配ではございますが、皆様のご参加をお待ちしております。

Theme 「いまさら聞けない免疫血清検査の基本~感染症検査編・ホルモン検査編」

講師：アボット・ジャパン株式会社 営業企画統括部学術情報部 中島 俊彦

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

ライフサイクルマネジメント部門 免疫・生化学検査部学術担当 澤上 直也

- 日時 平成24年6月23日(土) 15:00~18:00
- 会場 大阪医科大学 臨床第一講堂
- 参加費 500円 (非会員の方は別途、資料代として500円が必要です。)
- 連絡先 市立芦屋病院 上田 一仁
Email: k.ueda@ashiya-hosp.com

検体管理システム部門・生理検査部門 合同特別講演会



“ 生理検査のシステム化 --現状と問題点-- ” 疑問がいっぱい!! 何でこの装置、システムと接続できないの？

検体検査のシステム化に比較すると生理検査におけるシステム化は、まだまだ発展途上の状態という過言ではありません。生理検査のシステム化に際し、困ったことなど悩みをお持ちの方も多いかと思えます。

今回、生理検査のシステム化についての基本的な知識の講義と、稼働施設の事例を紹介いたします。今回の講演会で、みなさまの知識・理解が深まればと思っておりますので、ぜひともご参加ください。



内容

1. 生理検査システム構築に必要な知識

生理検査システムの現状

講師：大阪医科大学 井口 健

標準規格とガイドライン (DICOM、MFER、HL7、IHE)

講師：フクダ電子株式会社 池田 弘樹

2. 生理システム稼働施設事例報告

講師：大阪医科大学附属病院 池田 有利

市立岸和田市民病院 六尾 哲

関西医大香里病院 高田 厚照

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

医療情報技師 更新ポイント 1点

- 日 時 平成24年6月16日(土) 14:30~17:00
- 会 場 大阪医科大学 講義実習棟 2F 学I 講堂
- 参加費 500 円
(非会員の方は別途資料代として 500 円必要です)
- 連絡先 大阪医科大学 物流センター 井口 健
Email: kenmie@ruby.famille.ne.jp
TEL: 072-684-6319

学術部 血液検査部門からのお知らせ

！ 重要なお知らせ！ 「血液形態セミナーシニアコースの日程および 内容変更について」

6月は会場都合により第二木曜日の6/14に変更になりました。

ご参加予定の方はお間違いないようご注意ください。

また、6月、11月は通常の症例検討会ではなく、6月はフォトサーベイ結果報告。

11月は認定血液検査技師認定試験を意識した動画模擬試験となっております。

6月のフォトサーベイの画像は正会員および4月に登録されたオブザーバーの方にはメールで配信済みですが、その他の方でご覧になりたい方は6月10日まで大臨技HPからダウンロード可能です。お問い合わせいただいても個別にファイルの送信は行いませんのでご了承ください。

「フォトサーベイの画像ダウンロード方法」

1. 大臨技 HPにアクセス
2. トップページに「血液形態セミナーシニアコース」のバナーがありますので、それをクリックして下さい。
3. IDとパスワードを聞かれますので、
ID: blood パスワード: senior (全て小文字) を入力して下さい。

ご不明な点がございましたら下記メールアドレスまでお問い合わせください。

連絡先: 大阪府済生会中津病院 検査技術科 中村 恒仁

E-mail: osaka.ketsueki@gmail.com

近臨技 病理細胞検査部門研修会のご案内

評価点

専門教科-20点

(日臨技・大臨技会員証をお持ちください。)

CTクレジット取得予定

近畿臨床検査技師会 病理細胞検査部門では、「悪性リンパ腫の基礎から診断まで」をテーマに研修会を下記のとおり開催することになりました。

悪性リンパ腫に関する細胞性免疫検査のデータの見方、細胞や組織像の見方など基礎的な講演と、悪性リンパ腫の診断から治療までの臨床的な講演を予定しています。専門以外の基礎を学べる絶好のチャンスですので、病理・細胞診、血液を担当されている方にはぜひ聞いていただきたいと思ひます。悪性リンパ腫に関心がある方はふるってご参加ください。

日時

平成24年8月4日(土) 13:00~17:30

会場

大阪府立成人病センター 本館6階講堂(予定)
(Tel:06-6972-1181代表) 大阪府大阪市東成区中道1丁目3-3
JR大阪環状線「森ノ宮駅」下車、東へ300m(徒歩3分)
地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮駅」下車5番出口より東へ300m(徒歩3分)

受講料

3,000円

定員

100名(事前申し込み制)

先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。

主催

近畿臨床検査技師会

担当

滋賀県臨床検査技師会 学術部病理細胞検査部門
大阪府臨床検査技師会 学術部病理細胞検査部門

問い合わせ先

社会保険滋賀病院 検査部 林 裕司
〒520-0846 滋賀県大津市富士見台16-1
Email: niko2@kyoto.zaq.ne.jp
TEL: 077-537-3101 (内線1200)
FAX: 077-534-3354 (検査部直通)

申し込み方法

メールでの事前申し込みとなります。

件名に「近畿病理細胞診研修会」とご記載ください。

本文に下記(表)の内容を入力し送信お願いいたします。

各施設から複数の方が受講される場合も1人1通のメールを送信してください。

携帯メールはできるだけ遠慮ください。

メール環境のない方は下記(表)を記載し、電話連絡後FAXにてお送りください。

受付期間

平成24年6月1日(月)~6月30日(火)

注意事項

- 申し込みメールを受信後、受付受理のメールを返信いたします。
- 申し込みメール送信後、1週間たっても返信がない場合は左記問合せ先までご連絡ください。

プログラム

Theme 悪性リンパ腫の基礎から診断まで

12:30~13:00 受付

13:00~13:05 開講式

13:05~13:45 細胞性免疫検査のデータの読み方
(悪性リンパ腫を中心に)

講師 平郡 雄二 (BML学術)

13:45~14:25 きれいなギムザ染色(塗抹と切片の違い)

講師 野村 淳 (メルク株式会社)

14:40~15:40 リンパ節の検体処理・細胞及び組織の見方

講師 所 嘉朗

(愛知県がんセンター中央病院)

15:55~17:25 悪性リンパ腫の診断から治療まで

講師 稲井 邦博 (福井大学医学部 病因病態
医学講座 分子病理学領域 助教)

17:25~17:30 閉講式

申し込み用紙 (FAX 用)

氏名	フリガナ		
勤務先	所	属	
勤務先住所	〒		
電話番号	(内線)		
FAX番号			
会員種別 (該当に○を して下さい。)	日臨技+府県会員	府県会員	賛助会員
所属技師会		技師会会員番号	

他職種公開講座 細胞診定期講習会

学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

今月のテーマは消化器細胞診です。

基礎知識、良性病変、唾液腺腫瘍、消化管腫瘍、膵・胆道系腫瘍の細胞所見についてお話しいたします。

基礎知識から、ルーチン業務までの範囲でお話しいたします。初心者の方からベテランの方まで、知識の整理に役立つ絶好の機会ですので、ふるってご参加ください。

Theme 消化器細胞診

講師：大阪府立成人病センター 竹中 明美



- 日時 平成24年6月22日(金) 18:45 ~ 20:15
- 会場 北野病院 5階 きたのホール
- 参加費 500円
(非会員の方は別途資料代として500円が必要です。)
- 連絡先 南大阪病院 宇津野 美弥子
Email: jako@oct.zaq.ne.jp

大阪府臨床検査技師会 主催事業

マタニティークーニバル2012 体験コーナーボランティア募集



マタニティークーニバル2012は「来て、見て、触って、体験し、笑顔いっぱい」のイベントで楽しいマタニティーライフ・出産・育児生活を提案します。

今回のテーマは「響きあえいのちの鼓動！～守るいのち 家族の宝 世界の幸せ～」

2011年3月の大震災を経験した日本は、親と子のつながりはもちろん、家族・地域社会の助け合い、さらにその枠を超えた社会全体の絆(ボンディング)を強く意識するようになりました。

おなかの中の赤ちゃんがお母さんの優しい鼓動を感じ、二人の鼓動が互いに合わさり、高まり合っていくように、この国に暮らす人々の思いやりの輪が広がって、世界の人々へ助け合いの手が広まっていく、そんな優しい社会を実現したいというメッセージをマタニティークーニバルから私たちは発信していきます。

大阪府臨床検査技師会では、本年度もこの「マタニティークーニバル2012」の体験コーナーの運営を担当いたします。下記の通りお手伝いいただけるボランティア募集を行いますので、皆様のご参加、ご協力をぜひよろしくお願いいたします。

会 期 2012年7月7日(土)・8日(日)
10:00~17:00
7日のみ、8日のみのご参加や、午前のみ、午後のみの方も大歓迎です。

会 場 大阪南港ATCホール 地下鉄・ニュートラム
「トレードセンター前」下車すぐ

入場者数 20,000人(予想)

実 績 2009年度 19,646人
2010年度 20,121人
2011年度 21,286人

応募方法 メールもしくはお電話でお願いいたします

担 当：小阪産病院 栗本 幸司

Email: heart@kosaka.or.jp

TEL: 06-6722-4771 内線545

募集するスタッフ

- ▶ 4D胎児超音波体験実施ボランティア
(経験者の方)
- ▶ 骨密度体験、脳年齢チェック 内蔵脂肪測定
(経験は問いません)
- ▶ その他運営スタッフ(経験は問いません)

多くの方のご協力をお待ちしております。

輸血中級講座

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

4月と5月に開講しました基礎的な赤血球系検査中心の輸血基礎講座に引き続き、輸血中級講座を行います。事前申込みは必要ありません。
多くの皆様の参加をお待ちしています。

内容

1. ABO おもてうら不一致の場合の精査の進め方
2. 複合抗体が疑われる場合の精査の進め方
3. 自己抗体保有患者への輸血

- 日 時 平成24年7月7日(土) 14:00~17:00
(受付 13:30 ~)
- 会 場 大阪医科大学 臨床第1講堂
(阪急高槻市駅すぐ。JR 高槻駅徒歩 8分)
- 時 間 14:00 ~ 17:00 (受付 13:30 ~)
- 参加費 会員 1,000 円 非会員 2,000 円 (テキスト込)

「件名」を「輸血中級講座問い合わせ」とし、下記のアドレスにメールを送信するか、もしくは電話でお願いします。

yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp
電話の場合: 06-6372-0675
大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈

予 告 京阪神尿沈渣実習のお知らせ

今年も「京阪神尿沈渣実習with穿刺液」を8月5日(日)に開催します。
詳細は7月号大臨技ニュースにてお知らせしますので そちらをご覧ください。

第30回 中央支部自由集会 開催

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数



「HbA1c の汎用試薬を使って自動分析装置での運用評価」

4月 から HbA1c の基準値が従来法 (JDS 値) から国際標準値 (NGSP 値) に変更になりましたが、大きな混乱もなく導入されています。

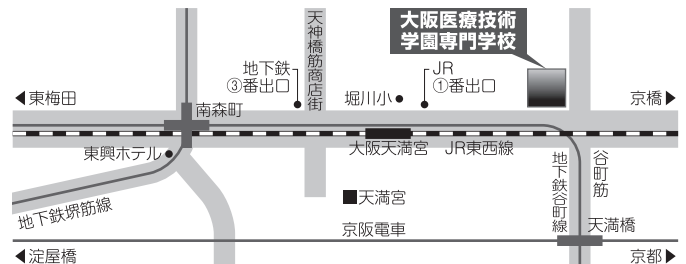
HbA1c は、一般的に高速液体クロマトグラフィー (HPLC 法) が主流ですが、汎用試薬を使って自動分析装置で運用できることも知られており、今回あえて、汎用試薬を使って自動分析装置での評価を、各メーカー毎に発表していただきます。

一般的には、一部の施設やセンターでしか使用されていませんが、自動分析装置で運用できるメリットを確認していきましょう。

- 日 時 平成24年7月27日(金) 18:30 (受付18:00~)
- 会 場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室
(〒530-0044 大阪市北区東天満 2-1-30)
TEL: 06-6354-2501
- 参加費 会員 500 円 非会員 1,000 円
- 共 催 帝人ファーマ株式会社
- 連絡先 中央支部長 大阪府済生会野江病院 臨床検査科 森 啓悟
Email: kensa@noe.saiseikai.or.jp
TEL: 06-6932-0401 (内線280番)

内容

1. 「HbA1cの国際標準値(NGSP値) 移行後の現況報告」
講師: 東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部
マーケティング部 新藤 義之
2. 「各メーカーにおける HbA1c の汎用試薬での各自動分析装置の評価」
 - ① 講師: 積水メディカル株式会社 検査事業部門 営業部
カスタマーサポートセンター 学術西日本グループ長 松本 美枝
 - ② 講師: 協和メデックス株式会社 営業支援部 近藤 大
 - ③ 講師: アークレイ マーケティング株式会社 営業総括本部
学術センター データマネジメントチーム 延原 崇之



他職種公開講座 第21回 糖尿病療養指導士講演会

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数



糖尿病患者さんのところに寄り添うために

- 日 時 平成24年7月16日(月・祝) 13:20~17:00
(12:45より受付)
- 会 場 大阪大学中之島センター 10F ホール
- 参加費 500円
(非会員の方は別途資料代として500円が必要です。)
- 共 催 日本イーライリリー株式会社
- 連絡先 ふくだ内科クリニック 横山有子
Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

内容

- 講演 1部
1. 「患者さんの人生に寄り添う臨床検査技師のお仕事 一心を持った支援者のプロとして責任を負い続けること」
講師: 佐久市立国保浅間総合病院 森本 光俊
 2. 「雑談からヒントをもらう服薬指導一街の薬局から」
講師: マザー薬局 菅濱 淳仁
- 講演 2部
- 「臨床心理からみた糖尿病患者のこころのテーマ」
講師: 京都大学大学院 皆藤 章



子宮の日(4月9日)を中心とした 子宮頸がん検診啓発活動(Love49)報告

4月14日、さわやかに晴れ渡った春の一日、なんば高島屋前において子宮頸がん検診啓発活動と献血推進運動を大阪府臨床検査技師会共催で行いました。

頸がん検診啓発活動は、日本細胞診断学推進協会細胞検査士会とNPO法人子宮頸がんを考える市民の会が協力した街頭キャンペーンで四年前に全国17都道府県で始まり、本年は37都道府県に活動の輪が広がりました。

数年前にHPVワクチンが認可され、マスコミを通じ検診の重要性もたびたび報道されておりますが、日本における検診受診率は20%程度と低迷し続けている現状を鑑み、'がん'の二次予防(早期発見)に最前線がかかわる者として、この問題を社会に向けて積極的に呼びかけて行こうというのがこの活動の趣旨です。この活動は来年以降も継続されることと思います。会員の皆さまの積極的なご参加をぜひともお願い申し上げます。

最後になりましたが、活動の実現にご尽力くださいました関係諸氏、特に渉外部担当の清水隆之理事に心より感謝申しあげ、活動報告とさせていただきます。



日本細胞診断学推進協会細胞検査士会 大阪府支部・平成23年度支部長
大阪府済生会野江病院 清水 恵子



臨床検査技師教育機関からの声

早いもので国家試験も終わり入学式を迎えました。1年生も授業がはじまり、解剖が少しずつ楽しくなってきたとっております。1年は初めての授業が多く、日曜日に学校で自習している学生もいます。これが広がってみんなが勉強する方向にしていってほしいと思います。写真はホームルームで近くの造幣局の桜の通り抜けにいったときの写真です。ごらんのように少しずつ友達の輪もできてきました。

2年生の授業は実習が増えてきます。病理・血液の実習で顕微鏡と格闘や、ミクロトームに悪戦苦闘、白血球分類などを行い実習は難しいけど楽しいとっております。また、5月15日からアメリカのシアトルにある提携校であるCLOVER PARK TECHNICAL COLLEGEに研修にいきます。今は英語で発表する「日本のワクチンについて」の準備や文化交流のためにたこ焼きや・茶道・書道などの用意に忙しそうです。アメリカでの医療システムやアメリカでの授業のみではなく、生きた様々な経験をしてくれると思います。

3年生は4月から校内での実習事前指導を経て、9日より病院実習に入っており実習先で、輸血の難しさを改めて知った、など臨床検査技師が行う仕事の「生きた勉強」

をさせていただいております。病院実習の先生方は他の医療職よりも熱く、臨床検査技師を育てるのだという信念を持って指導いただいていると感じます。

毎年、9月に本校へ帰ってくると知識はもとより、人間的に成長しております。我々教務は実習先の先生方には心からお礼申しあげております。我々も優秀な臨床検査技師育成のために頑張ることをこの葉桜を見て心新たにしました。



大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
学科長 山根 京子

大臨技 平成24・25年度担当役員 あいさつ



会長
運天 政五郎 (東住吉森本病院)

この度、4月1日より平成 24・25 年度の代表理事 (会長) に就任いたしました。会長としての重責を担い、身の引き締まる思いであります。微力ではありますが会員、府民の皆様のために新役員と力を合わせて精一杯職務に励む所存です。

就任に当たっての所信は以下のとおりです。

1. 大臨技定款に掲げている当会の目的を遂行します。
即ち、臨床検査技師の学術研鑽を行い、府民の健康の保持、増進に寄与します。
 2. 会員への情報提供を密にします。
理事会の議事録はホームページにアップし、大臨技ニュースに、理事会の決定事項をタイムリーに掲載します。
 3. 平成 24 年度中に公益法人に移行します。
 4. 日臨技と力を合わせて、日臨技定款にある目的「会員の身分の確立、職域の拡大」に協力します。
- 以上、新役員一丸となって会の運営を進めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。



事務局担当 副会長
吉本 勝美 (白鷺病院)

前年度まで総務部長として4期務めさせていただいた経験を生かし、新たに事務局長として今後も会の運営ならびに会員の皆様のお役に立つよう鋭意努力させていただき所存でございます。

特に今年度は、公益社団法人移行に向けての準備として、昨年度の臨時総会で承認いただいた新定款に沿って各種規程の整備や財務管理の充実に取り組むとともに、会員の皆様のための会員管理システムの充実や賠償責任保険の管理、また、府民公開講座の開催ならびに献血推進活動や予防啓発事業を通じ府民および関連団体との交流推進にも取り組む所存でございますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



事業局担当 副会長
竹浦 久司 (多根総合病院)

今期も引き続き事業部担当、即ち学術部、情報組織部、地区事業部の副会長を拝命しました。

会員の皆様へは日頃当会の事業にご協力賜り、感謝申し上げます。当会は事業内容の質、数の多さは、全国どこの地臨技に比べてもトップクラスであります。しかしながら当会は、会員皆様の会費によって成り立っていることを念頭におき、無駄を省き、会員皆様へより多く還元できるような事業を展開することを考えて参ります。また当会が今年度なすべきことは公益法人化であり、役員一丸となって取得に向け、努力する所存です。今後ともご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

【事務局】



会計部部长 常務理事
荒木 年男 (株式会社大阪血清微生物研究所)

大阪府臨床検査技師会 10 年・近畿臨床検査技師会 8 年、理事を務めさせていただいております。事業計画において予算・決算を中心に各事務局・事業局の要請を取りまとめ、会員皆様により良い技師会活動となりますよう職務に専念しております。

本年は、技師会の公益法人の移行に向けて皆様のご理解とご協力をもとに達成したく考えております。今後共、検査技師の医療における重要性について確立できるよう、微力ではありますが努力いたしますのでよろしくお願い申し上げます。



総務部部长 理事
栗本 幸司 (小阪産病院)

理事として3期目を務めさせていただくことになりました。前期までは地区事業部担当として4年、うち渉外部兼任で2年間務めさせていただきましたが、この度、吉本副会長の後任として総務部を担当させていただくことになりました。総務部の業務は会員の皆様への情報開示、広報、総会の運営、会員名簿の管理などいわば大阪府臨床検査会の窓口として、会員の皆様と大臨技を繋ぐという重責があると感じております。

小職は職場におきましても、診療情報管理、医療情報システムの構築等を担当している事もあり、大臨技の皆様への適切な情報共有で、風通しの良い技師会運営に寄与することが使命と認識しております。何とぞよろしくお願い申し上げます。



総務部 理事

山田 真規子(サイトサポート・インスティテュート株式会社)

総務部広報担当として5期目となる今期も引き続き、「大臨技ニュース」編集を主とした会務に携わらせていただきます。大臨技からの情報はWEBを介してより早く、より多くの方に届くようになりましたが、その過程には多くの調整が含まれており「会員のために何が必要とされているのか」の判断を軸に、収束されています。技師会の活動は、多くの方々の理解と実行力で成り立っていると実感し感謝している所存です。今後も良い方向に一貫した体制確立への一端を担って活動して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



会計部・総務部兼任 理事

久保田 芽里(大阪府立泉州救命救急センター)

今年度より理事に就任し、会計部および総務部担当を拝命いたしました。総務部では、会員の皆様への情報配信や技師会運営がより充実したものになるよう微力ではありますが励みたいと考えております。初めての経験で不慣れな点も多いと思いますが、皆様のご意見と先輩理事のご指導の下に、少しでも技師会の発展に貢献できますよう一生懸命努めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。a



渉外部部長 理事

清水 隆之(市立豊中病院)

今まで理事8期を務め、渉外部や公益事業部等で進めてきました、献血推進活動や手話講座、がん検診啓発活動、放送大学への入学推進などの渉外事業をはじめ、学術部担当として、全国学会や近畿学会などの企画や運営など学術事業に取り組んできました。これからはさらに公益法人としてふさわしく、会員の皆様と一緒に臨床検査技師のスキルアップ並びに技師の声を府民の皆様に届けていきたいと思っています。今後とも渉外部事業へのご協力とともに、大臨技をよろしくお願いいたします。

追記 少しでも、渉外部事業に興味を持たれたら下記メールまでご連絡ください。

一緒に活動しませんか! akane@mub.biglobe.ne.jp



渉外部 理事

増田 詩織(近畿大学医学部附属病院)

渉外部の担当理事(2期目)を務めさせていただきます。渉外部では、大阪府臨床検査技師会が公益社団法人として活動する上で大切な、大阪府民への貢献と関連団体との連携の窓口を務めております。

例年と同様に、看護の日、府民健康フォーラム、大放技との合同フォーラムなどの開催を進め、またそれ以外にも会員の皆様が、様々な方々と交流を深める企画を考えていきたいと思っています。

会員の皆様にはふるってご参加をいただき、府民の方との交流を深め、身近に臨床検査と云う仕事を理解していただけるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

【事業局】



学術部部長 常務理事

高田 厚照(関西医科大学香里病院)

学術部を担当させていただきます。他の理事の方より親しみを込めて??「ほんわか部長」といわれております。大臨技は「学術の大臨技」と言われているように学術活動が活発に行われています。他の学術担当理事の方と一丸となってこの言葉に恥じないように各部門をまとめ、会員の皆様のお役に立てるよう頑張っていきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



学術部 理事

宮野 章(大阪府立母子保健総合医療センター)

今年で理事7年目となります。大臨技学術部の年間行事予定表や事業報告書をまとめたり、年2回行われる学術部講演会の準備や司会を行ったりしています。私は、私の周りの全ての方々の幸せを望みます。

理想的な技師会というのは、会員にとってメリットがあると同時に、技師会にもメリットがある必要があると思います。公益法人では、府民にもメリットが必要となります。その意味からも、公益法人化に向けて理解し励まし合って奮闘努力していきたいと思っています。皆様のあたたかいご理解ご協力をお願い申しあげ、挨拶とさせていただきます。

大臨技 平成24・25年度担当役員 あいさつ



学術部 理事
山西 八郎 (天理医療大学)

引き続き、学術を担当させていただきます。昨年8月に阪大病院を退職し、本年4月に開学しました、天理医療大学に赴任しました。また、大阪大学医学系研究科にも職籍ができました。今後は、教育現場という立場から、技師会のあり方を考え、そして実践していきたいと考えています。さらに、データ標準化事業事務局も継続して担当させていただきます。会員の皆様方のご協力とご意見を仰ぎながら、会務に励んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



地区事業部部長 常務理事
田畑 泰弘 (育和会記念病院)

情報組織部を1期2年、地区事業部長として5期9年目となります。また今期は常務理事をさせていただくこととなりました。地区事業部の事業には施設連絡者会、会員交流会、ボランティアの協力による健康展・マタニティカーニバル、各支部で行われる自由集会・地域オープンセミナー等があります。

また会員連絡網であるメーリングリストがあります。仕事での疑問点等、ぜひ活用してください。

『誰かが何かを知っている』かも…。コマーシャルになってしまいましたが、よろしくお願い申し上げます。



地区事業部 理事
出野 憲由 (大阪労災病院)

楽しく、明るく、笑顔が一番をモットーに、地区事業部を担当しております。夏にはマタニティカーニバルの体験コーナーのボランティアスタッフ募集、秋には会員参加イベントの会員交流会があります。

大臨技ニュースでもお知らせいたしますので、ふるってご参加くださいませ。

さて、この度私の支部担当が南支部から北支部に変わります。南支部のみなさま、本当にありがとうございました。これからも引き続き参加いたしますのでよろしくお願い申し上げます。北支部のみなさま、高校時代は高槻南高校(統廃合で今はありませんが)でした。〇〇年前は地元です。元気いっぱい動きます。よろしくお願い申し上げます。



地区事業部 理事
後藤 真理子 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター)

この度初めて理事に就任いたしました。大臨技は、研修・講習会、講演会など活発です。より一層多くの技師に楽しんで参加していただけるよう活動してまいります。また、医療職種間の交流、技師会員の絆を深め、臨床検査技師の資質向上を目指すことで社会の皆様にご理解と評価をいただけたらと思います。皆様のお役に立てるよう、取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



情報組織部部長 理事
井戸田 篤 (大阪府立成人病センター)

よく情報組織部って何の活動しているの?と聞かれることがあります。当部会は技師会における組織強化を目的として、新入会員と未入会者を対象に技師会活動について理解を深めるための研修会や、技師長クラスの技師を対象とした、管理運営に役立つ情報の提供や研修会を開催し、施設連携を深める内容の事業を開催しています。また、チーム医療部門との連携を取り、他職種をも含め誰もが参加しやすい事業計画を目指しています。広域部門・職種に渡ったテーマを比較的取りあげやすい部会ですので、ご要望があれば事業として受け賜りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



情報組織部 理事
酒井 正容 (府中病院)

前期に引き続き情報組織部を担当させていただきます。情報組織部では職能団体としての組織強化と会員皆様へ役に立つあらゆる情報提供を事業として取り組んでまいります。

大臨技は約3,000名の会員数を有する大きな組織です。それゆえ会員相互の情報共有がますます必要となります。技師会が皆様の良きコミュニケーションの場としてあらゆる情報の発信が行えるよう微力ながら頑張っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



渉外部・情報組織部兼任 理事
杉山 昌晃 (市立岸和田市民病院)

情報組織部および渉外部の担当理事として、会員の皆様、他職種の皆様ならびに府民の皆様には有益な情報を提供していきたいと思っております。また、今年度は公益社団法人として新たな活動の年となります。大臨技の活動目的である会員の学術技能研鑽、資質向上と府民の健康保持増進を遂行できるよう尽力いたしますのでよろしくお願いいたします。



監事
栗本 誠一 (日本医学株式会社)

大臨技で最年長となりましたが2期目の監事を務めさせていただいております。今年は実質的に公益社団法人としての事業開始の年となります。大臨技会員の皆様および府民の皆様から今後、公益社団法人としてふさわしい評価をいただけるよう会務、会計の適正な監査を実施するとともに、理事会で必要な場合は意見具申を実施し監事としての職務を果たす所存でございます。

公益法人として適正で有効な予算執行がなされ、適格な財務状態が維持されるよう監査業務に邁進いたしますので、よろしくお願いいたします。



監事
山中 俊郎 (浅田会計事務所)

監事は今期で2期目になりますが、主に会計監査と公益法人移行に向けてのサポートに携わっております。財務をテーマとした講演もさせていただきました。理事会にも都合がつく限りは出席させていただき、理事の皆様から「府民の健康増進と臨床検査技師業界の発展に寄与しよう」という熱いエネルギーをもらっています。私は臨床検査技師ではない、いわば“素人”ですが、素人だから気づく視点があると思いますので、気がついたことはどんどん提言していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



事務員
岩崎 和子



事務員
出口 由紀子

大臨技理事会報告 *Executive board report*

今年度より、大臨技理事会で決定した主な内容について報告いたします。
その他詳細事項につきましては大臨技ホームページ内の議事録を参照ください。

【平成24年度 大臨技第1回理事会(4月11日開催)の決定事項】

- 平成24年度の大臨技の運営を以下のとおり決定した。
- ・ 理事会役員を担当を決定した。(5月大臨技ニュースに掲載)
 - ・ 会長所信を表明した。(6月大臨技ニュースに掲載)
 - ・ 大臨技組織図を一部変更した。
 - ・ 緊急検査部会を学術部に位置づける。
 - ・ 内視鏡検査部会をチーム医療部門に位置づける。
 - ・ データ標準化専門部会を理事会直下のプロジェクトとして位置づける。
 - ・ 日臨技関西支部学術協力委員に高田常務理事を推薦した。
 - ・ 理事会議事録は毎回、出席した役員全員が確認して署名する。

大臨技事務局より 会員証提示のお願い

- 講演会・講習会参加時は必ず会員証を受付でご提示ください。
ご提示なき場合は、**例外なく「非会員」扱い**とさせていただきます。
- 大臨技へ申請中の場合は会員証に代わる、振込用紙領収書または申請中証明のはがきをご持参ください。(賛助会員の方は名刺の提示をお願いします。)
- 生涯教育の登録上、日臨技と大臨技両方に入会されている方は「**日臨技会員証**」と「**大臨技会員証**」の両方を提示してください。
- ただし、大臨技主催の講演会・講習会には「大臨技」の会員証の提示が必須となります。**「日臨技会員証」の提示のみでは「非会員扱い」となりますので、ご注意ください。**

(近畿2府5県で開催される講習会は、近臨技共通となる「大臨技」会員証で会員として参加できます。)

皆さまのご理解と、ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

平成24年度 会費

1.	大臨技「継続会員」納入金額	
	大臨技年会費	5,000円
2.	大臨技「新入会」および「再入会」納入金額	
	大臨技新入会費・再入会費	2,000円
	大臨技年会費	5,000円
		計 7,000円

- ▶ 所定の郵便振込用紙は大臨技事務局にご請求ください。
- ▶ 日臨技入会希望者は別途日臨技へ入会申請してください。
- ▶ 施設、転入・転出・異動および転居の際は日臨技事務局にもご連絡ください。
特に転居については、送付先を自宅にされている場合、メール便を使用したニュース、会報等がお届けできなくなりますのでご注意ください。



敗血症(細菌性)の鑑別診断、
重症度判定の補助に

プロカルシトニン
PCT

プロカルシトニン(PCT)はカルシトニンの前駆体として甲状腺のC細胞で生成され、血中にはほとんど分泌されません。敗血症(細菌性)の患者では血中プロカルシトニン濃度が上昇するのに対し、ウイルス感染症ではほとんど上昇しないため、敗血症(細菌性)の新しいマーカーとして注目されています。

イムノクロマト法

体外診断用医薬品 承認番号 21900AMX00925000

プロカルシトニンキット

ブラームス PCT-Q

酵素免疫化学発光法

体外診断用医薬品 承認番号 21800AMX10625000

プロカルシトニンキット

スフィアライト・ブラームス PCT

- ▶ 自動化学発光酵素免疫分析装置 SphereLight 180
- ▶ 自動化学発光酵素免疫分析装置 SphereLight Wako

LBA法

体外診断用医薬品 承認番号 22200AMX00283000

プロカルシトニンキット

ミュータスワコー ブラームス PCT

- ▶ 全自動蛍光免疫測定装置 ミュータスワコー i30

〔製造販売元〕

和光純薬工業株式会社

大阪市中央区道修町3-1-2

〔問い合わせ先〕

和光純薬工業株式会社

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13
電話：(03) 3270-9134 (ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成24年7月号の原稿メ切は**6月4日(月)**、8月号は**7月5日(木)**です。